

『エイビーロード』 2015年GW海外ツアー問合せ概況

問合せ数は前年比129%。羽田発・名古屋発が特に好調。
旅行日程は5・6日間が半数。ビーチリゾートが人気。

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野健）の海外旅行領域の調査・研究部門である「エイビーロード・リサーチ・センター」（センター長：沢登次彦）は、海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』に掲載されている海外ツアーへのユーザーからの問い合わせ実績を集計し、2015年ゴールデンウィーク（以下GW）期間の海外旅行マーケットの動向を、以下の通り発表いたします。

結果要約

1. GW海外ツアー問合せ数（前年比）・・・P2

→全国計で前年比129%。問合せは大幅に増加。
→羽田発（前年比158%）、名古屋発（前年比139%）が特に好調。

2. GW海外ツアーの人気旅行先・・・P2,3

→ビーチリゾート、アジア、ハワイなど中距離が人気。
→問合せ方面1～3位はオアフ島、台北、グアム。セブ島が4位にランクイン。

3. GW海外ツアーの日数、出発・帰国希望日の集中状況・・・P3,4

→5・6日間ツアーが問合せの半分を占める。平均日程は5.4日（前年5.6日）。
→ピークは昨年以上に集中の予想。出発ピーク予想日は5月2日（土）。

【本レポート集計の定義】

※1 全国計、各地発とも、前年問合せ実績を100%としたときの、2015年の問合せ実績を%で表示。
東京発は成田発・羽田発・成田羽田未定の合計。大阪発は関西発・伊丹発・関西伊丹未定の合計。
全国計には、東京、大阪、名古屋以外の発地（福岡、札幌など）を含む。

※2 GW期間の定義は、

2015年4月25日（土）～5月6日（水）

2014年4月26日（土）～5月6日（火）

2013年4月27日（土）～5月6日（月）

のいずれかが日程に含まれる旅行。2015年、2014年は同年1月1日～3月22日までに発生した問合せを集計。
2013年は以前に発表した同年1月1日～3月23日までに発生した問合せを参考データとして掲載。

（以下の黄色い網掛け部分をGW期間と定義。日曜・祝日は赤で表記）

2015							2014							2013						
4月							4月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
19	20	21	22	23	24	25	20	21	22	23	24	25	26	22	23	24	25	26	27	
26	27	28	29	30			27	28	29	30				28	29	30				
5月							5月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2					1	2	3				1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	4	5	6	7	8	9	10	5	6	7	8	9	10	11

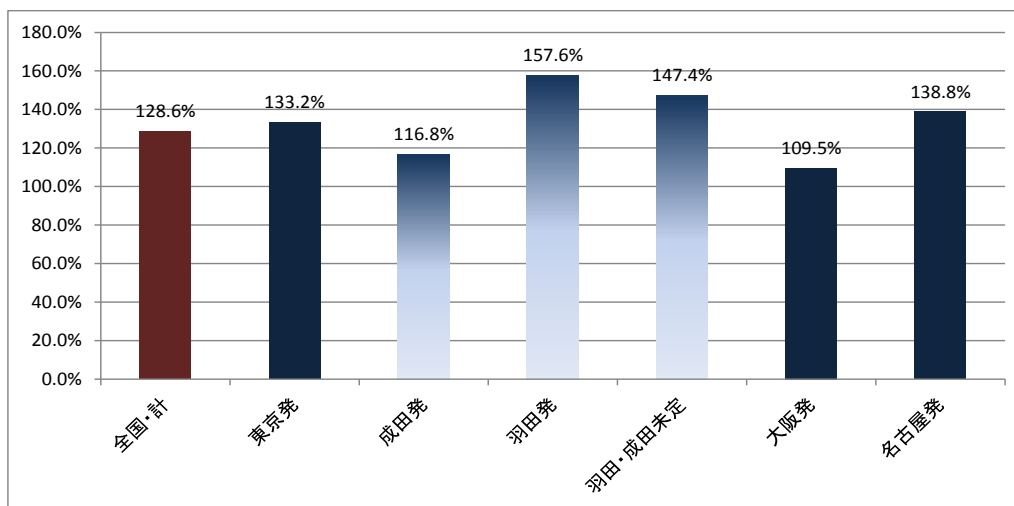
※3 問合せの定義：『エイビーロード』カスタマーのメールによる旅行会社への問合せと、サイト経由での旅行会社のホームページへのリンク数を含めた数値。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press/>

1. 問合せ数、全体は前年比129%。羽田発は158%、名古屋発は139%。

2015年のGW（2015年4月25日～5月6日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行）の新規問合せ数は、前年比（昨年のGW期間）で全国計が128.6%。主要出発地別では名古屋発が138.8%、東京発が133.2%などとなっている。羽田発は前年比157.6%と前年の国際線増便以来、依然として大きな伸び（データ1）。

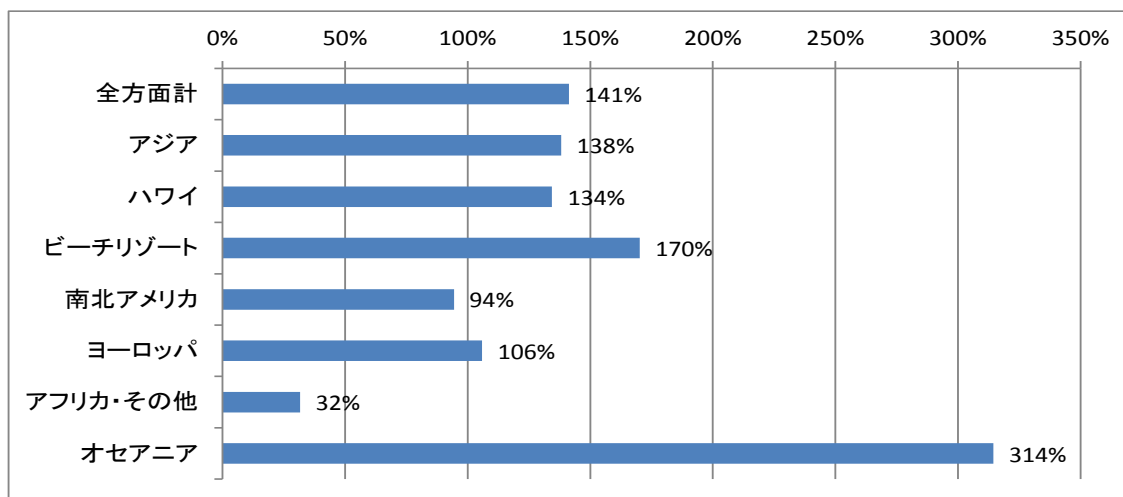
データ1：2015年GWの新規海外ツアー問合せ数（前年比）



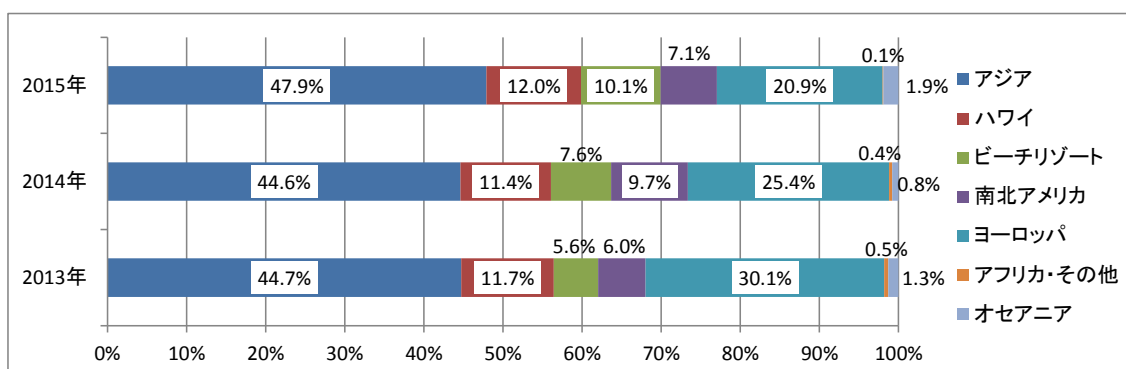
2. GW海外ツアーの人気旅行先、1位オアフ、2位台北、3位グアム。

主要方面別には、ビーチリゾート、アジア、ハワイなど中距離が好調で、長距離は相対的には苦戦。また、元々のシェアは小さいがオセアニアが前年の減少から回復し、2013年のシェアも上回った（データ2、3）。人気旅行先ランキングでは、前年に引き続き「オアフ島（ハワイ）」が1位でシェアも伸ばした。2位「台北」は変わらず、3位には「グアム」が浮上。「セブ島（フィリピン）」「バンコク」もトップ10入り（P3データ4）。

データ2：GW海外ツアーの問合せ エリア別前年比



データ3：GW海外ツアーの問合せ 旅行先シェア エリア分類別



データ4：GW海外ツアーの問合せ 旅行先シェアTOP10 / 参考：2014年・2013年

順位	2015年問い合わせ旅行先	シェア
1	オアフ島	8.7%
2	台北	6.3%
3	グアム	4.0%
4	セブ島 (フィリピン)	3.5%
5	バンコク	3.4%
6	ソウル	3.3%
7	シンガポール	2.7%
8	ホーチミン	2.5%
9	パリ	2.4%
10	バリ島 (インドネシア)	2.1%

順位	2014年問い合わせ旅行先	シェア
1	オアフ島	7.5%
2	台北	6.6%
3	ソウル	4.3%
4	パリ	4.0%
5	グアム	2.9%
5	バリ島 (インドネシア)	2.9%
7	バルセロナ	2.5%
8	ローマ	2.3%
9	シンガポール	2.2%
10	ホーチミン	2.1%

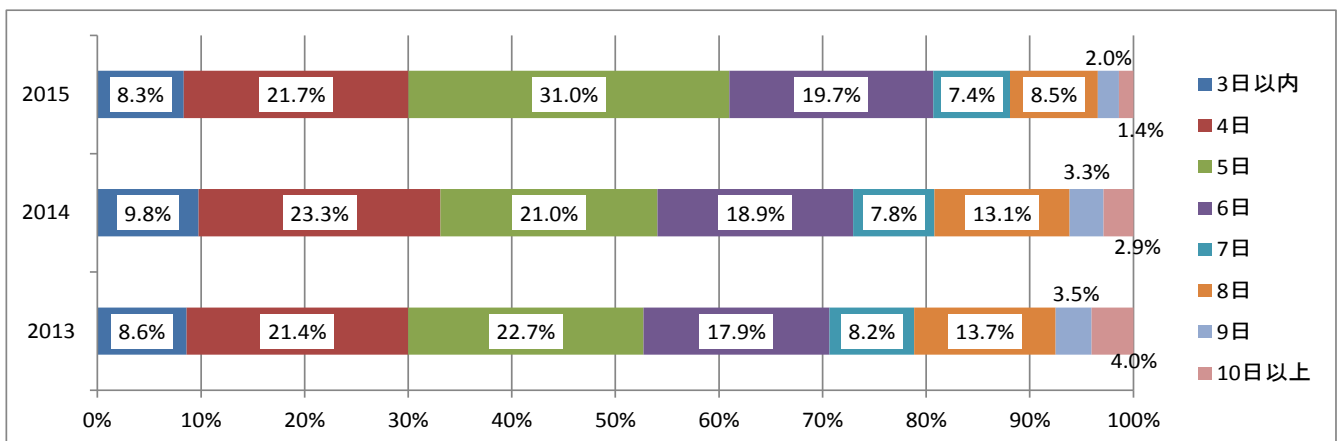
順位	2013年問い合わせ旅行先	シェア
1	オアフ島	7.4%
2	台北	5.1%
3	パリ	4.1%
4	ソウル	3.8%
5	バルセロナ	3.2%
6	バンコク	3.1%
7	バリ島 (インドネシア)	3.0%
8	イスタンブール	2.8%
9	ローマ	2.7%
10	グアム	2.0%
10	シンガポール	2.0%

※小数点第2位を四捨五入した数値でランキング。

3. GW海外ツアーの日程、5・6日間が人気で平均5.4日と短期化。

ツアー日数に関しては、「5日」「6日」で全体の5割以上に。7日間以上は2年連続で減少し（データ5）、全体的に短期化傾向。平均旅行日数は5.4日（データ6）。出発・帰国希望日はそれぞれ5月2日（土）と6日（祝水）により集中する傾向（P4データ7）。

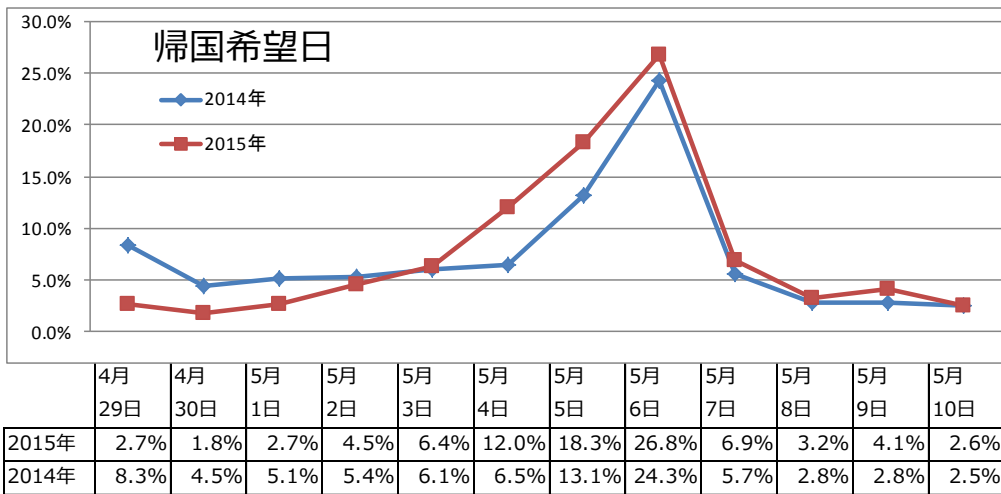
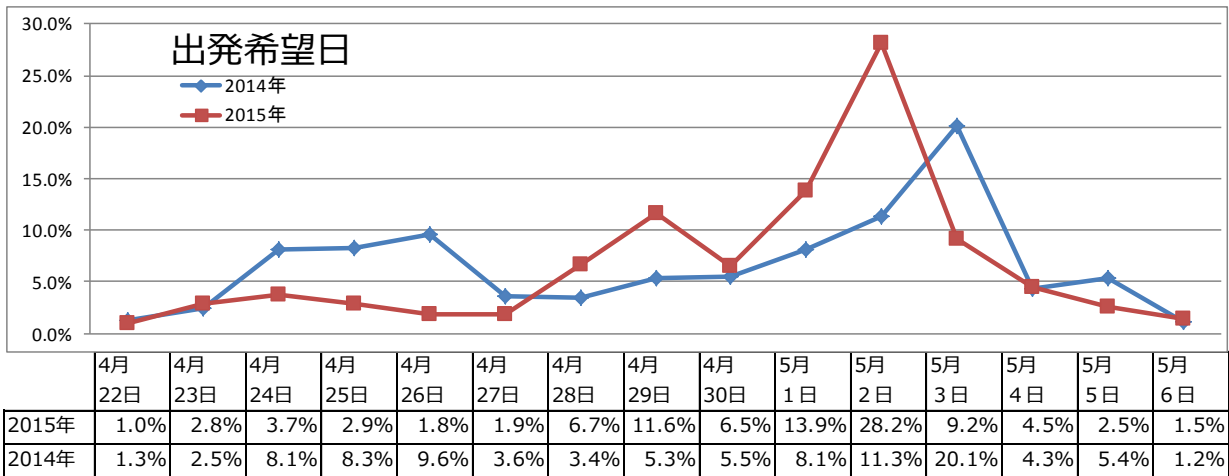
データ5：GW海外ツアー問合せシェア 日数別（2013～2015年比較）



データ6：GW海外ツアー問合せ 平均日数（2013～2015年比較）

年	2015	2014	2013
平均日数	5.4	5.6	5.7

データ7：GW海外ツアー問合せシェア 希望出発日・帰国日（2014～2015年比較）



※主要な希望出発日・帰国日を集計。前後する希望出発日・帰国日もあるため、合計は100%にはならない。

総評・解説

5・6日間での中距離ビーチリゾートが人気に。 燃油サーチャージ値下げが好材料も、日並びと治安がロングに悪影響。

2014年のGWは円安の影響が大きく、集計時において2013年比マイナス12%（全発地計）という問合せ数であった。しかし、本年は前年比29%アップとマイナス分以上に問合せが増加した。ただ、GW対象期間が2014年は4月26日～5月6日の11日間、2015年は4月25日～5月6日の12日間と1日多いため、集計対象日を勘案して比較するならば、トータルで約9%問合せ数が増えるはず。したがって、実質の増加は前年比で約20%という見方もできる。それでも好調であることは確かであり、その要因について、①円安は変わらないが原油価格の下落で燃油サーチャージが大きく値下げされたこと、②昨年の羽田国際線増便の効果が継続していること、③国内旅行も含めた消費者の旅行意欲が堅調、の3点がありそうだ。

カレンダー的には5月3日（日）から6日（祝水）まで、GW後半に連休が続く。5月2日（土）が休みの場合は、ここで5連休を取りやすい日並びである。出発希望日と帰国希望日はそれぞれ5月2日（土）と5月6日（祝水）に昨年以上に集中する傾向だ。この日並びと、ヨーロッパや中東でテロ関連の事件があったことなどで、長距離方面は相対的には不調で、5・6日間で行けるビーチリゾートが人気となっている。P3の人気トップ10にランクインしたオアフ島（問合せ数前年比136%）、グアム（同163%）、新規就航との相乗効果で急上昇のセブ島（フィリピン）（同352%）などが大きく問合せ数を伸ばした。また、トップ10圏外でも、プーケット島（タイ）が同222%、ニューカレドニアが同214%、サイパンが同155%などで目立った増加が見られた。また、もともと旅行先のシェアが少ない方面の話ではあるが、アフリカ・その他（中近東を含む）への問合せが減り、逆にオセアニアへの問合せが急増した。旅行日程は昨年よりもさらに短くなって、平均5.4日。

また、2014年の羽田空港国際線増便からはちょうど1年が経過したが、今回も前年比58%アップという高い伸び率を維持して市場をけん引している。首都圏以外では、名古屋発も前年比で大きな伸び。セントレア発着の2015年上半期便数はほぼ昨年同様のため、こちらは供給増ではなく純粋に消費者ニーズが高まった結果と言えそう。

プラス要素とマイナス要素の入り混じった2015年GWではあるが、結果的にトータルの海外旅行者数が増加する着地に期待したい。